

屋久島町における鳥獣被害の実態

表-1 作物別被害面積の推移

単位:ha

農作物名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	(同左構成比)
早期水稻	8.0	8.0	8.0	7.5	0.3	3.0	3.0	2.5	0.1	0.1	1.1%
さつまいも	11.0	22.0	18.0	16.0	6.5	17.4	17.4	10.9	0.4	0.5	5.7%
茶	3.0	5.0	50.0	50.0	2.0	30.0	30.0	25.0	2.0	1.7	19.3%
ばれいしょ	25.0	104.9	10.0	15.0	11.1	4.5	4.9	2.6	0.1	0.0	0.0%
他野菜類	2.0	4.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0%
ぼんかん	38.5	171.0	154.0	129.0	29.7	59.0	59.0	52.0	2.6	3.3	37.5%
たんかん	80.0	199.0	108.0	124.0	49.9	82.0	55.0	46.0	1.9	3.2	36.4%
びわ	2.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
時計草	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0%
その他	0.1	1.1	20.5	20.5	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
計	170.6	521.0	375.5	369.0	100.0	196.8	170.7	139.7	7.2	8.8	100.0%

表-2 作物別被害金額の推移

単位:千円

農作物名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	(同左構成比)
早期水稻	569	580	729	757	15	259	249	238	98	80	1.3%
さつまいも	606	1,210	2,618	2,049	306	807	838	625	371	322	5.0%
茶	122	200	2,818	3,154	33	1,144	1,169	592	683	615	9.6%
ばれいしょ	1,393	5,845	1,006	1,409	762	507	580	199	114	103	1.6%
他野菜類	333	1,760	1,098	490	0	0	540	62	127	138	2.2%
ぼんかん	3,785	29,975	26,719	15,968	1,919	6,591	1,759	2,710	2,175	1,907	29.8%
たんかん	17,436	77,802	33,815	41,567	7,418	11,426	5,830	3,012	3,214	3,213	50.3%
びわ	784	1,568	359	240	0	0	0	0	0	0	0.0%
時計草	285	570	58	66	2	116	122	46	13	16	0.3%
その他	47	960	2,404	2,385	144	12	0	0	0	0	0.0%
計	25,360	120,470	71,624	68,085	10,599	20,862	11,087	7,484	6,795	6,394	100.0%

表-3 鳥獣別被害金額の推移

単位:千円

鳥獣名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	(同左構成比)
サル	15,540	29,520	25,032	19,253	4,597	6,747	3,254	2,349	2,368	2,249	35.2%
シカ	4,216	23,480	42,022	24,234	4,134	10,725	6,722	4,975	4,303	4,031	63.1%
タヌキ	0	960	1,784	1,765	144	257	0	0	0	0	0.0%
ヒヨドリ	5,604	66,100	1,326	21,483	1,623	2,821	2,394	0	0	0	0.0%
カラス	0	410	1,460	1,350	100	313	412	160	124	113	1.8%
計	25,360	120,470	71,624	68,085	10,599	20,863	12,782	7,484	6,795	6,393	100.0%

表-4 鳥獣別被害の様相

サル	目撃情報が減少しており、農作物等被害についても減少傾向となっている。しかし、一部で果樹やいも類等への被害や通学路や観光施設等の生活圏に出没し、被害を及ぼすケースも見られる状況である。
シカ	被害は減少傾向となっているが、果樹の新芽や野菜類の食害を受けている状況である。また、住民の生活圏での果樹、家庭菜園における被害も発生している。畜産については、草地の食害やシカに寄生するヒルやダニによる被害も発生しており、引き続き被害防止対策を講じる必要がある。
タヌキ	依然として生活圏等で出没は見られる状況であるが、農作物等への被害は殆ど見られなくなった。
ヒヨドリ	渡りの影響もなく被害は殆ど見られないが、たんかん収穫時期の被害に注意する必要がある。
カラス	果樹やいも類、牛舎の飼料等の食害が発生している。また、一部の集落では生活圏での被害も発生しているが、捕獲活動により被害は減少傾向となっている。

鳥獣別被害金額の推移

(単位:千円)

